

2024年7月2日

日本農業気象学会賞候補者募集

日本農業気象学会会員各位

日本農業気象学会会則により、下記の要領で2024年度日本農業気象学会賞各賞の候補者の募集を行いますので、会員各位からのご推薦をお願いいたします。

なお、各賞の推薦・審査方法の詳細は、日本農業気象学会賞規程に記載されています。日本農業気象学会賞規程は、本学会ホームページの学会案内から参照できます。

(<https://agrmet.jp/aboutus/regulation/#anker-11>)

記

1. 推薦応募締切

2024年9月6日(金) 必着のこと

2. 必要書類

推薦書書式は、学会ホームページからダウンロードして下さい。

(<http://agrmet.jp/aboutus/prizes/#prize>)

学術賞および普及賞については、関連する論文・業績を5件程度、PDFファイルにして提出してください。

3. 各賞の対象（日本農業気象学会賞規程第2条）

学術賞：農業気象学・農業気象技術の進歩、発展に著しく寄与した研究業績を上げた会員

普及賞：農業気象学・農業気象技術の普及、教育、啓蒙に著しく貢献のあった会員

功績賞：本学会の学術的発展や運営に顕著な功績をあげた原則として65歳以下の会員（2024年4月1日現在）

貢献賞：本学会の運営あるいは農業気象学関連の出版活動、国際会議の開催・運営などを通じて、本学会の発展に貢献した会員または会員を含む団体もしくはグループ

論文賞：顕著に優れた原著論文が本学会誌に掲載された会員（筆頭著者以外は非会員でもよい）

奨励賞：優れた原著論文が本学会学術誌に掲載された35歳以下の会員（2024年4月1日現在）

なお、学術賞、普及賞、功績賞、貢献賞、論文賞、奨励賞は毎年若干名に贈られます。

4. 表彰対象年度

学術賞、普及賞、功績賞の対象業績は審査の前年度（2023 年）末までの業績とします。

論文賞の対象は

Journal of Agricultural Meteorology, Vol. 79 (2023)

生物と気象, Vol. 23 (2023) です。

奨励賞の対象は

Journal of Agricultural Meteorology: Vol. 78(1)(2022) ~Vol. 79(4) (2023)

生物と気象: Vol. 22 (2022) ~ Vol.23 (2023) です。

※論文賞・奨励賞対象論文は、別紙をご覧ください。

5. 推薦書類の提出先および問い合わせ先

〒861-1192

熊本県合志市須屋 2 4 2 1 農研機構 九州沖縄農業研究センター 暖地水田輪作研究領域

日本農業気象学会 表彰担当理事 柴田 昇平

TEL: 086-242-1150 (代)

E-mail: shibata@affrc.go.jp

以上

別紙

2023 年度日本農業気象学会賞
論文賞と奨励賞の対象論文

論文賞

Journal of Agricultural Meteorology Vol. 78 掲載の Full paper および Short paper

[Vol.79, Issue 1 目次](#)

[Vol.79, Issue 2 目次](#)

[Vol.79, Issue 3 目次](#)

[Vol.79, Issue 4 目次](#)

生物と気象 Vol. 23 掲載の研究論文および短報

[Vol.23 目次](#)

奨励賞

会員	掲載論文題名	掲載誌巻号	備考
Ting-Wei CHANG	Dependance of isoprene emission flux on leaf mass per area of Phyllostachys pubescens (moso bamboo)	JAM Vol. 78(1)	
Yoshiyuki KINOSE	Simulating the impacts of and adaptation options for increasing air temperature on chalky rice grains in the Kyushu region of Japan	JAM Vol. 78(4)	2021 年度論文賞受賞者
Keach MURAKAMI	Projected changes in field workability of agricultural machinery operations for upland crop production with +4 K warming in Hokkaido, Japan	JAM Vol. 78(4)	2022 年度論文賞受賞者
Md Rakibul HASSAN	Down-regulation of photosynthesis in apple leaves under elevated CO2 concentration: a long-term field study with different fruit load	JAM Vol. 79(1)	
Yusuke MASUYA	Estimating rice amylose content from Wx alleles and weather data and determining suitable cultivation areas for new high-yield, low-amylose lines in Tohoku region of Japan	CiB Vol. 23	2018 年度奨励賞受賞者